



愛美会ニュース

2006. 5 NO.7 愛美会企画部
愛媛県四国中央市上分町乙8-2 TEL 0896-56-2333
<http://www.11.plala.or.jp/aibikai/>

社会福祉法人 愛美会

介護老人福祉施設 樋谷荘
介護老人保健施設 アイリス
ケアハウス アハス虹の里
グループホーム グループホーム

樋谷荘に篠原施設長就任。新入社員6名が入社。

入社式



(石川理事長)

桜の花が満開となり、春風が心地よい4月1日、愛美会の入社式が行われました。

今年度は、樋谷荘に篠原施設長が就任され、新入職員として、介護福祉士が3名、アイリスに介護福祉士が3名の計7名が新たに配属されました。

入社式では、理事長から「今年度より、医療、介護保険が改正となり、より厳しい時代となりますが、新入職員も含め、愛美会全職員が一致団結し、更なる飛躍をお願いしたい。」との挨拶がありました。

篠原施設長就任挨拶

新緑を迎え、皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、去る4月1日付けをもちまして樋谷荘・ケアハウス虹の里・グループホーム虹の里の施設長に任命されました。

私はもとより微力ではございますが、全力投球でこの任に当たる覚悟でございますので、関係各位におかれましては、格別のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



(篠原修三施設長)

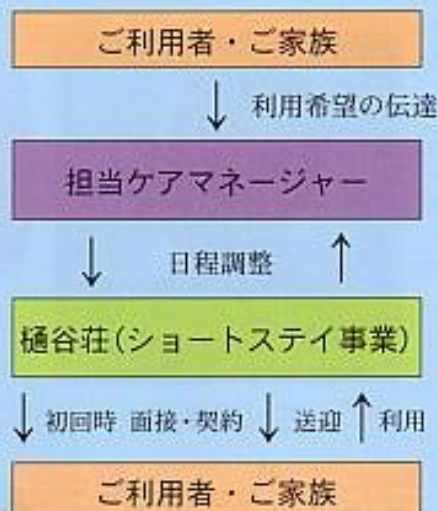
さて、昨今のわが国は世界に例をみない超高齢社会を迎え、介護が必要なお年寄りを地域や社会全体で支えていこうと介護保険制度が制定されて、六カ年が経過したことは、ご案内のとおりであります。

当施設もこの制度下で、施設内容の充実、家庭的雰囲気を作成する為、愛情奉仕の精神をもって運営にあたり、利用者一人のニーズと意思を尊重し、可能性の追求と生活の質の向上に努めているところであります。これからも社会福祉事業をとりまく環境はきわめて厳しいと思いますが、関係者各位との連携を図りながら、施設の運営に当たってまいりたいと考えておりますので、関係者の皆様におかれましては、今後共一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

樋谷荘 ゆとりある介護と生きがいを求めて ～在宅サービス～

ショートステイ

ショートステイご利用の流れ



「介護は私がやらなければ…」 「しんどいけど、休めない。」 そう思っていないですか？でも、もしもあなたが倒れたら誰が介護をするの？毎日続く家族介護の大変さは、当事者にしか分からないものです。永く続けていくためには、思い切って休むことも必要です。

そういった時に、ご利用していただくサービスが、「ショートステイ」です。

「ショートステイ」は、短期間(1日～30日程度)施設に入居していただき、ご家族に代わって介護サービスを提供するものです。毎月何日か定期的に利用され、上手にリフレッシュしながら介護を続けておられる方が増えています。

介護を永く続けるコツは、「介護を楽しむ事」と言われますが、介護者が時折りリフレッシュし、精神的にゆとりをもって行うことが介護者にも介護をされる側のご家族にも大切なことではないでしょうか。

ひとりで抱え込まず、どうぞ担当のケアマネジャーか下記の担当者にご相談下さい。

デイサービス

4月から介護保険制度が改正されました。今回の改正の大きなポイントは、「予防重視」となった点です。要支援が1・2に分けられ、デイサービスでも予防給付という介護予防を重視したサービス提供を行うことになりました。

予防給付になると、これまで居宅介護支援事業所で作成していた介護計画が、新しく市に設けられる地域包括支援センターで介護予防計画として作成されるようになり、介護予防通所介護事業所で、運動器の機能や口腔機能の向上と栄養改善やアクティビティなどの介護予防メニューを選択してご利用いただくようになります。

四国中央市では、予防給付の開始は、来年4月となっていますので、それまではサービスを受ける上での変更はありません。

樋谷荘のデイサービス(通所介護)では、介護給付・予防給付・地域支援事業の介護予防デイと3段階の受け入れを行い、通所をご利用の皆様を一貫してサポートさせていただきます。そして、今後も皆様楽しく、生きがいを持ってご利用いただけるよう心を込めたおもてなしを行ってまいりますので、どうぞご利用下さい。



健康と生きがいを支える在宅サービス

樋谷荘 在宅サービスのお問い合わせは
TEL 56-2333
担当：生活相談員 大西忍まで

ケアハウス虹の里 夫婦で共にいつまでも！

現在、虹の里では4組のご夫婦が生活を共にされています。結婚60年のダイヤモンド婚式を超えられたご夫婦が2組、結婚50年の金婚式を超えられたご夫婦が2組とご夫婦共に健康で一緒に暮らせることは非常に喜ばしく、微笑ましいことです。

虹の里では、毎年2月2日の夫婦の日にはささやかですが、ご夫婦がいつまでも仲良く一緒に生活出来ますように、との願いを込めてお花のプレゼントをお贈りしております。

ケアハウスの特性は、ご夫婦のどちらかが障害を負い、介護が必要な状況になっても、もう一方の方がお世話をしながら生活できるということです。在宅では構造上、バリアフリーになっていなかったり、廊下が狭かったりと介護に疲労が伴う場合が多く、また、一人で介護をする不安や悩み等で精神的に落ち込むことも珍しくありません。虹の里では3組のご夫婦どちらかが車椅子という状況ですが、お互いに励まし、助け合いながら生活されています。二人だけで悩まずに、まずはご相談にいらしてみませんか？気軽にご連絡下さい。



お問合せ先
☎58-0012 担当:児山まで

グループホーム虹の里 春の味覚を探索に！

冬の厳しい寒さも和らぎ、次第に暖かくなって来た頃、春の訪れを身体で感じる為、近くを散歩に出かけました。虹の里周辺の野山には、まだまだ手つかずの自然が多く、つくし、わらび、ふき等の山菜が多数自生しています。

新緑の中、利用者自らの力で自然の恵みを手にする事は、とても気持ちの良いものです。また、身体を動かすことで緊張感を和らげ、自然の中で味わう開放感は、精神面に於いても想像以上の効果が得られます。

「ええお天気じゃあ」「外は気持ちがあえなあ」と



言いながらも一生懸命つくしを採る姿は、まるで童心に返ったように、生き生きとした笑顔が見られました。

収穫したつくしは、利用者の方々が手馴れた手つきで、ハカマをとり、卵とじにしてその日の食卓に飾られました。自分たちで採って来た食材を自分たちで調理して食べると味も格別ようです。

認知症という病によって失ってしまった時間や季節の感覚を自然の中から頭で理解するのではなく、身体で感じ、身体で覚えることは非常に重要な事です。今後も積極的に外に出かけたいと思います。

アイリス リハビリテーションの充実を目指して…

「もっとリハビリをしてほしい。」そんな要望を実現する為に、アイリスでは、関連職種（医師、理学・作業療法士、介護支援専門員等）が個人に最適なりハビリプログラムを作成するリハビリテーションマネジメントに取り組んでいます。

リハビリテーションマネジメントは、単に機能回復・維持訓練だけではなく、ご利用者自身の意識や意欲向上にも繋がり、各関連職種が協同することにより、同じ意識のもと、より最適なりハビリの提供を行うことができます。



(関連職種によるカンファレンス)

又、通所リハビリでは、ご利用者の身体状況に応じた送迎から始まり、入浴・理学療法士によるリハビリ・介護予防を目的とした“パワーリハビリテーション（筋力向上トレーニング）”にも取り組んでおります。

5月からは新たに作業療法士1名を迎え、理学療法士2名とともに、より専門的で、ご利用者の皆様のニーズに対応できる「幅広いリハビリテーション」の提供を目指していきます。

皆さんも、是非アイリスと一緒に“リハビリ”をがんばってみませんか？



(筋力向上トレーニング)

アイリス 満開の桜の下で…

今年も毎年恒例のお花見の季節がやってきました。

4月3日から計5日間、延べ100人のご利用者の皆様と一緒に、満開の桜を求めて、森と湖畔の公園、桃山公園、すすきヶ原と西へ東へ…。

春とはいえ、まだ肌寒く感じられましたが、桜の木の下では、皆様の笑顔も桜の花のように満開。

お弁当を食べながら、思い思いに自由な時間を過ごされました。

今後も季節感を味わえる、様々な行事を企画しておりますので、楽しみにしておいて下さいね。



(満開の桜の下で…)